平成29年度　国立看護大学校同窓会　講演会&座談会

あこがれナースプロジェクト

国看卒業ナースに
スポットライトを★

あこがれナースプロジェクトは、国立看護大学校を卒業して各分野で頑張っている卒業生の「これまで」と「いま」を多くの方に知ってもらいたいと思い企画しました。1期生が卒業して14年目、今や1000人以上もの卒業生がいます。子育てをしながら頑張っている卒業生、国際的な活動を行っている卒業生、大学院に進学してキャリアアップを目指す卒業生など、みなさん様々な思いを持って働いています。

今回、3人の卒業生を招き、講演会と座談会を企画しました。進路に悩んでいる在校生だけでなく、これからキャリアを考える卒業生にもぜひ聞いていただきたいと思います。

横手 春子（6期生）

元青年海外協力隊　2015年1次隊　モロッコ派遣
国際協力分野に携わりたく、看護の道を選びました。卒後は、国立国際医療研究センターでの小児看護や、離島でのへき地医療を経験し、2015年からモロッコにて母子保健に関する活動を行ってきました。協力隊活動をメインに、これまでの経験や今後の展望をお話しします。

原口　純（旧姓:宮田）（4期生）

卒業後、国立成育医療研究センターに入職、乳幼児病棟にて働きました。結婚出産を経て、外来勤務となり、小児アレルギーエデュケーターを取得。現在、病棟及び外来でアレルギー患者に関わる傍ら、一般の方々、医療者、学校・幼稚園保育園関係者に向けたアレルギーに関する知識の普及に努めています

角森 亮介（3期生）

自分はどんな看護師に、どんな人間になりたいのか。そんなことを考えながら過ごしてきました。看護師→大学院生→臨床教員→副看護師長と経験してきた中で得られた事や、管理職って実際どうなの？といったところについてお話します。少しでも皆さんの将来の参考になれば幸いです。

2017 10/ 7 (土)

場所: 国立看護大学校202教室
開場 15:45　開演16:00～
お問い合わせ　国立看護大学校同窓会
ncn,dousoukai@gmail.com